



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月10日

上場会社名 油研工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6393 URL <http://www.yuken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永久 秀治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 萩野 嘉夫

TEL 0467-77-2111

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	7,214	10.1	492	28.7	476	31.5	271	12.0
2018年3月期第1四半期	6,550	7.1	383	71.4	362		242	

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 161百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 255百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	65.82	
2018年3月期第1四半期	57.41	

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	36,581	17,509	43.9
2018年3月期	37,986	18,141	43.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 16,055百万円 2018年3月期 16,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		80.00	80.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	7.9	1,000	0.6	1,000	5.4	600	3.4	145.17
通期	30,000	1.8	2,200	0.5	2,100	3.0	1,300	7.2	314.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、【添付資料】8ページ(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	4,510,676 株	2018年3月期	4,510,676 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	406,893 株	2018年3月期	377,646 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	4,118,510 株	2018年3月期1Q	4,216,829 株

2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	P. 5
四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 補足情報	P. 10
海外売上高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済は、米国の保護主義的な政策への懸念、中国等の新興国の景気の下振れリスク等、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社グループは、グループの全体最適(Group)、海外拠点の強化と対象市場の拡大(Global)、成長を支えるインフラや人財の強化(Growing)を推進の柱に、中期経営計画「3G (Group Global Growing) Action 2018」を2016年度よりスタートさせ、国内外の顧客に対し積極的な拡販に努めるとともに、環境変化に影響されにくい高収益体質企業への転換、新製品の開発・提案、経営の効率化にも鋭意取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は72億1千4百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は4億9千2百万円（前年同四半期比28.7%増）、経常利益は4億7千6百万円（前年同四半期比31.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7千1百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から14億4百万円減少し、365億8千1百万円となりました。減少の主なものは、受取手形及び売掛金の減少8億3百万円、棚卸資産の減少8千6百万円等、固定資産では、有形固定資産の減少1億5千5百万円、投資有価証券の減少1億9千3百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて7億7千2百万円減少し、190億7千2百万円となりました。減少の主なものは、流動負債では、支払手形及び買掛金の減少3億3千3百万円、未払法人税等の減少3億2千4百万円等、固定負債では、長期借入金の減少1億3千6百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億3千1百万円減少し、175億9百万円となりました。減少の主なものは、自己株式取得による自己株式の増加8千6百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億4千5百万円、為替換算調整勘定の減少2億9千3百万円等であります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し、43.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローにより増加したものの、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローにより減少したため、44億7百万円（前連結会計年度末比0.7%減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益4億7千6百万円、売上債権の減少5億8千7百万円、仕入債務の減少1億8千1百万円、法人税等の支払額3億5千3百万円等であります。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは8億9百万円の収入となり、前年同四半期に比べ3千8百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出1億5千6百万円等であります。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは1億6千8百万円の支出となり、前年同四半期に比べ1億3千7百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローの内訳の主なものは、長期借入れによる収入1億円、長期借入金の返済による支出2億2千5百万円、配当金の支払いによる支出2億5千1百万円等であります。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは5億8千3百万円の支出となり、前年同四半期に比べ5千1百万円支出が減少しております。

当社は、取引銀行4行とシンジケーション方式のコミットメントライン契約を締結しており、コミットメントの総額は40億円、当第1四半期連結会計期間末のコミットメントラインの借入未実行残高は35億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2018年5月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。今後、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,579,988	4,548,456
受取手形及び売掛金	12,207,319	11,403,471
商品及び製品	3,652,919	3,491,831
仕掛品	1,015,663	1,075,349
原材料及び貯蔵品	3,048,884	3,064,218
その他	997,954	933,277
貸倒引当金	△96,358	△90,512
流動資産合計	25,406,371	24,426,092
固定資産		
有形固定資産	7,180,443	7,024,652
無形固定資産	397,675	377,360
投資その他の資産		
投資有価証券	3,036,639	2,843,201
その他	1,980,308	1,925,680
貸倒引当金	△15,157	△15,157
投資その他の資産合計	5,001,790	4,753,724
固定資産合計	12,579,909	12,155,736
資産合計	37,986,280	36,581,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161,189	5,828,113
短期借入金	2,124,937	2,050,688
1年内返済予定の長期借入金	884,063	890,177
未払法人税等	459,465	135,326
賞与引当金	453,173	220,787
その他	1,706,730	2,001,597
流動負債合計	11,789,560	11,126,691
固定負債		
長期借入金	4,158,914	4,022,457
退職給付に係る負債	3,785,437	3,844,174
環境対策引当金	818	818
資産除去債務	4,480	4,490
その他	105,933	73,857
固定負債合計	8,055,583	7,945,797
負債合計	19,845,144	19,072,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,101	4,109,101
資本剰余金	3,881,105	3,881,105
利益剰余金	8,596,436	8,536,873
自己株式	△950,260	△1,037,186
株主資本合計	15,636,383	15,489,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,008,043	862,067
為替換算調整勘定	369,468	76,072
退職給付に係る調整累計額	△384,104	△372,319
その他の包括利益累計額合計	993,408	565,820
非支配株主持分	1,511,344	1,453,626
純資産合計	18,141,136	17,509,340
負債純資産合計	37,986,280	36,581,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	6,550,879	7,214,000
売上原価	4,824,007	5,299,845
売上総利益	1,726,872	1,914,154
販売費及び一般管理費	1,343,820	1,421,358
営業利益	383,051	492,796
営業外収益		
受取利息	7,340	12,264
受取配当金	21,548	23,958
持分法による投資利益	8,919	7,274
その他	28,197	31,399
営業外収益合計	66,005	74,895
営業外費用		
支払利息	52,875	46,600
為替差損	32,236	42,865
その他	1,518	1,633
営業外費用合計	86,629	91,099
経常利益	362,427	476,592
税金等調整前四半期純利益	362,427	476,592
法人税等	94,781	164,479
四半期純利益	267,646	312,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,557	41,034
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,089	271,078

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	267,646	312,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,965	△145,976
為替換算調整勘定	△67,008	△339,868
退職給付に係る調整額	8,258	11,784
その他の包括利益合計	△11,783	△474,060
四半期包括利益	255,862	△161,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,872	△156,508
非支配株主に係る四半期包括利益	47,990	△5,438

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	362,427	476,592
減価償却費	220,175	243,546
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△862	△3,918
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31,568	77,004
受取利息及び受取配当金	△28,888	△36,222
支払利息	52,875	46,600
為替差損益(△は益)	782	5,518
売上債権の増減額(△は増加)	131,464	587,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	△203,473	△54,754
仕入債務の増減額(△は減少)	625,269	△181,125
その他	△213,800	8,213
小計	914,400	1,169,254
利息及び配当金の受取額	34,241	41,662
利息の支払額	△54,161	△48,031
法人税等の支払額	△123,582	△353,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	770,897	809,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△301,174	△156,817
貸付金の回収による収入	695	912
その他	△5,259	△12,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305,737	△168,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△27,278	△34,911
長期借入れによる収入	3,866	100,000
長期借入金の返済による支出	△219,522	△225,901
自己株式の取得による支出	△80,114	△86,934
配当金の支払額	△214,707	△251,904
非支配株主への配当金の支払額	△65,802	△52,281
その他	△31,315	△31,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△634,875	△583,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94,911	△88,855
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△264,627	△31,532
現金及び現金同等物の期首残高	5,244,312	4,439,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,979,685	4,407,613

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,117,823	3,346,603	86,452	6,550,879	—	6,550,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	803,902	205,812	—	1,009,714	△1,009,714	—
計	3,921,725	3,552,415	86,452	7,560,593	△1,009,714	6,550,879
セグメント利益又は セグメント損失(△)	152,447	178,313	△3,894	326,866	56,184	383,051

(注) 1 調整額の主なものは、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,296,379	3,815,503	102,117	7,214,000	—	7,214,000
セグメント間の内部 売上高又は振替高	790,760	260,187	—	1,050,948	△1,050,948	—
計	4,087,140	4,075,691	102,117	8,264,949	△1,050,948	7,214,000
セグメント利益	102,236	290,450	1,946	394,633	98,162	492,796

(注) 1 調整額の主なものは、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,393,551	89,951	101,802	24,374	3,609,680
II 連結売上高(千円)					6,550,879
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	51.8	1.4	1.6	0.3	55.1

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国、タイ

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,927,338	76,375	134,143	34,301	4,172,159
II 連結売上高(千円)					7,214,000
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	54.4	1.1	1.9	0.4	57.8

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国、タイ

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス